

日本に対する印象と感想

社会科学研究科博士課程前期 法律学専攻一学年 原 晋

晶

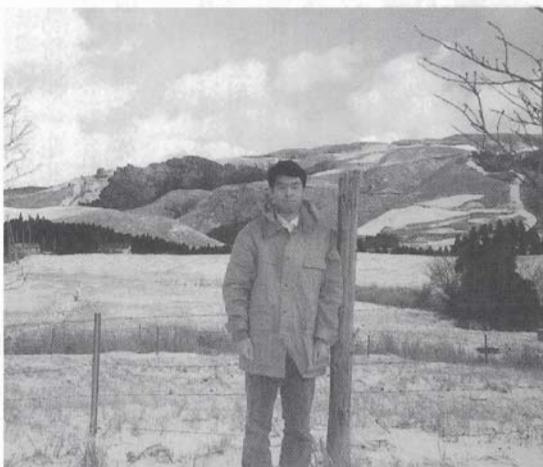
私は広島大学に入学する前、公の仕事で二度も日本に来たことがある。しかし、その時は日本の表だけを見て帰った。今回は私費留学生としての生活を通じて、日本に対する印象を一層深めた。次に私が見た日本の実像について書くことにしよう。

日本人の 礼儀の正しさ

初めて日本に来た外国人に日本に対する印象は何ですかと聞くと、おそらく日本人は礼儀が正しいと答えてくれるだろう。日本では店で買物をしても、街を歩いていても「ありがとうございました」、「失礼します」という丁寧なことばがよく耳に入ってくる。そして公共の場所では日本人はよく公衆道徳を守っている。例えば、喫煙禁止の部屋ではタバコを吸う人は決していない。それから又「出口」と「入口」と書いてあるところでは、指示の反対方向に出入りする人もほとんどいない。ほんとうに感心した。

日本人の教育に 対する熱心さ

広島大学において新学期が始まる時、一番目立つことは、いろいろな奨学金の募集の掲示がなされることである。奨学金を給付する



1991年12月29日 九州阿蘇山の山麓にて

今後の課題— 両国青年の交流

中日両国は一衣帶水の隣国で、二千年以上の中日友好交流の歴史を持つている。日本ではたいていの年配の方々は、中国に深い理解を持っているようだ。しかし、これに対して多くの日本青年は中国に真の理解を持つていないと私は痛感している。中国と日本はともにアジアひいては世界での大国である。両国との間の子々孫々の友好と平和共存は、アジアひいては世界和平に大いに貢献することができる。中日両国の青年は両国の将来の担い手である。となつたのは、日本人の教育事業に対する熱心さと切つても切れない関係にあると思う。従つて、これからもどのように中日両国青年の友好交流を深めていき、中日両国の青年がどのようにして代々仲良くしていくのかということは、中日両国政府における大きな課題であらう。

日本文化は中国文化の影響を強く受けている。漢字も使われており、また文化の共通点も多く存する。しかし、日本人は長い歴史の流れの中で自分の独特な文化をつくり出し、そして今日までそれを守ってきた。例えば日本の和服は世界で有名であり、お城の建て方と家屋の建て方も独特なものである。他に能楽、落語、神道などは日本の素晴らしい文化の伝統として数えられよう。その上、日本の神社と庭園の雰囲気も日本に来る世界の人々に強い感銘を与えている。

好 你 は 今 日 ! ハ オ ニ イ

日本文化の特色